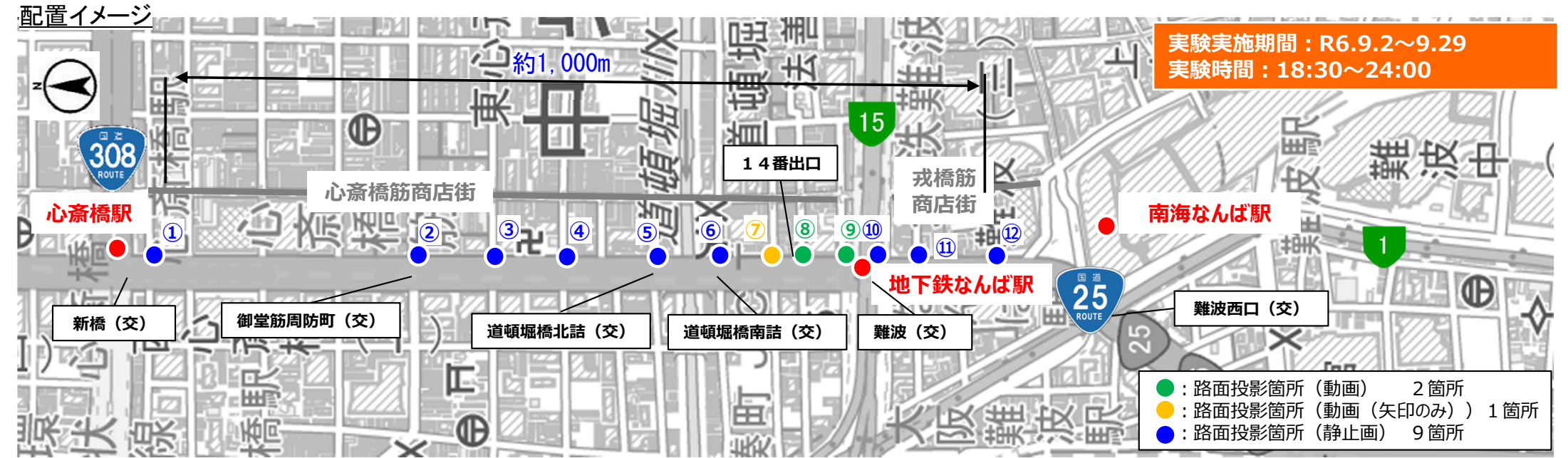


御堂筋におけるDX関連社会実験について 効果検証

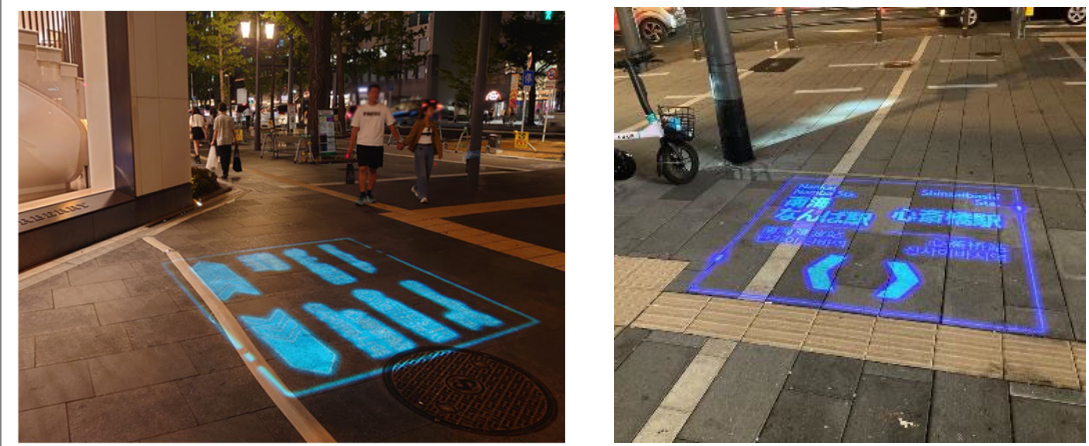
近畿地方整備局 大阪国道事務所

1. 御堂筋における社会実験の概要

- ・大阪市では、観光施設が集中する御堂筋や道頓堀周辺を中心に、年間2,000万人を超える観光客が訪れており、地域に与える問題の一つとして歩行空間の混雑が発生し、市民生活に支障が生じている。
- ・オーバーツーリズムによる歩行空間の混雑緩和の対策として、「心斎橋駅」～「南海なんば駅」間に投影機を設置し、路上にプロジェクションマッピングの技術等を活用した歩行者案内の実装に向けた実証実験を推進する。



路面投影状況



<交差点部 地点③>

<交差点部 地点⑨>

路面投影内容(多言語対応)



<交差点部 東西筋歩行者案内(左:地点③、右:地点⑨)>

2. 効果検証概要

地域課題	プロジェクションマッピングにより期待できる効果	観点	検証手法	検証結果
難波交差点や地下鉄なんば駅から出てきた人が行先がわからず、スマホを確認して滞留している。出口付近は通行量も多いため、円滑な誘導が必要。	• 出口を出た人が迷わず行先へ移動した • 出口を出て道に迷っている人やスマホを見ている人が減少した	コンテンツの視認性	アンケート調査 (街頭アンケート・Webアンケート)	- 外国人の場合、静止画より<u>動画・矢印動画が高い</u>。日本人はコンテンツによる視認性の違いが見られない。 - 路面案内が見えにくい理由は、外国人・日本人共に<u>路面の色と混じってわかりにくかったことが最多</u>であった。次いで<u>文字の色の薄さ</u>。
		コンテンツの適切性	アンケート調査 (街頭アンケート・Webアンケート)	- 外国人、日本人ともに<u>約8割が十分</u>と回答。 - 十分ではないと回答した人のうち、<u>外国人は観光施設の方向、日本人は方位（東西南北）の情報</u>を求める回答が多い。
		道に迷っている人の把握	ビデオカメラ調査	<u>プロジェクションマッピングを見て行動を変えた人が確認できた</u>。 - 道に迷う人は、実験期間外と比較して実験期間中は、地下鉄出入口で<u>69人（約24%）減少</u>、難波交差点で<u>約30人（約13%）減少</u>。

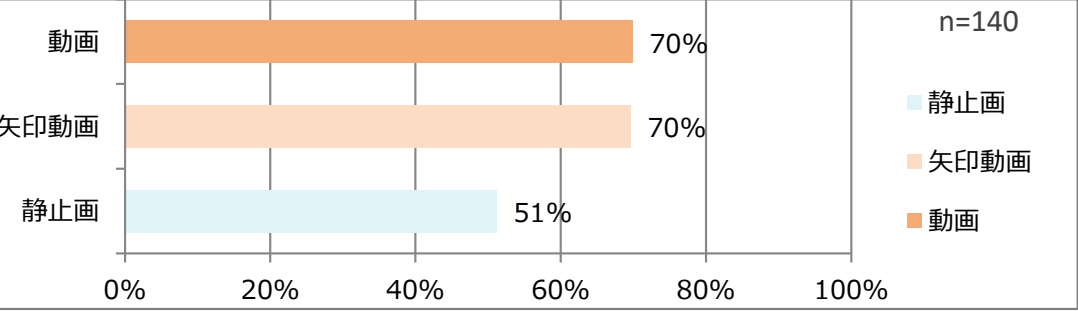
3. 効果検証結果(街頭アンケート・Webアンケート)

- コンテンツの視認性は外国人の場合、静止画より動画・矢印動画が高い。日本人はコンテンツによる視認性の違いが見られない。
- 路面案内が見えにくい理由は、外国人・日本人共に路面の色と混じってわかりにくいことが最多であった。次いで文字の色の薄さであった。
- コンテンツで表示した情報は、外国人、日本人ともに約8割が十分と回答。
- 十分ではないと回答した人のうち、外国人は観光施設の方角、日本人は方位（東西南北）の情報を求める回答が多い。

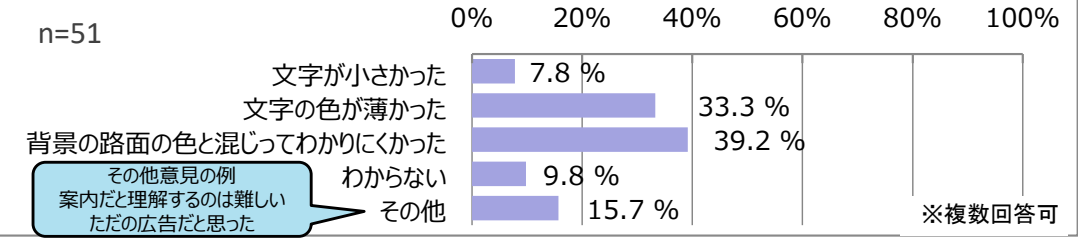
街頭アンケート（外国人）

概要： 外国の方を対象に、現場にてコンテンツの効果をアンケート形式で聞き取り
場所： 道頓堀付近（地点⑥⑦⑧）、難波交差点（地点⑨）
日時： 9月21日（土）～23日（月）19時～22時
サンプル数： 140（希望言語 英語67%、中国語20%、韓国語3%、日本語10%）

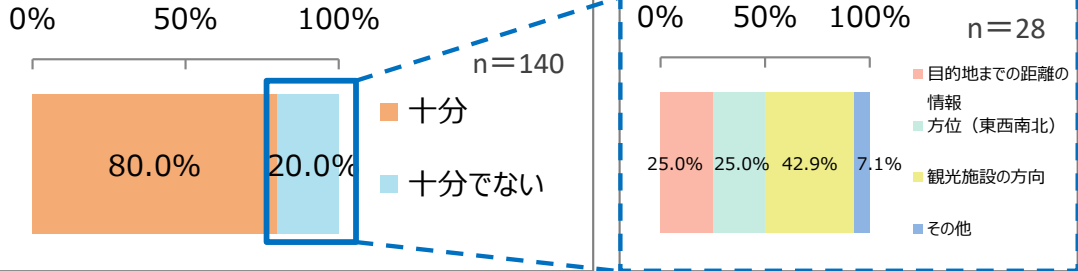
どのコンテンツが視認しやすかったか？



見えにくかった理由

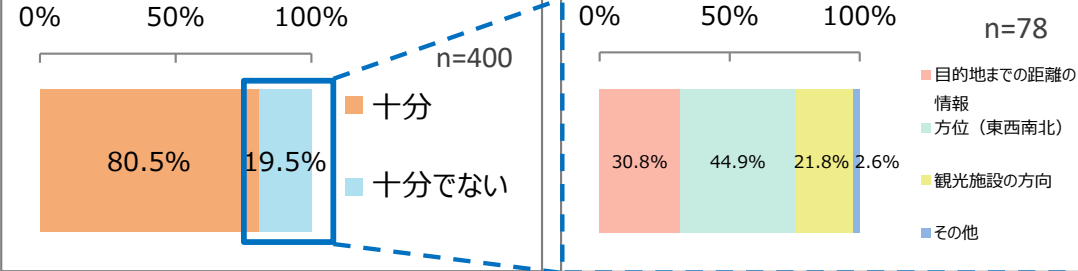
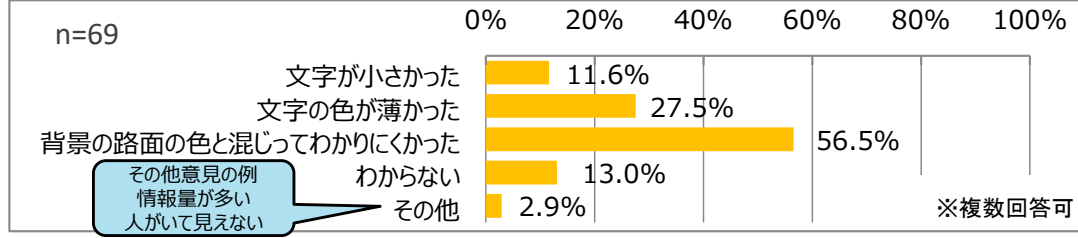
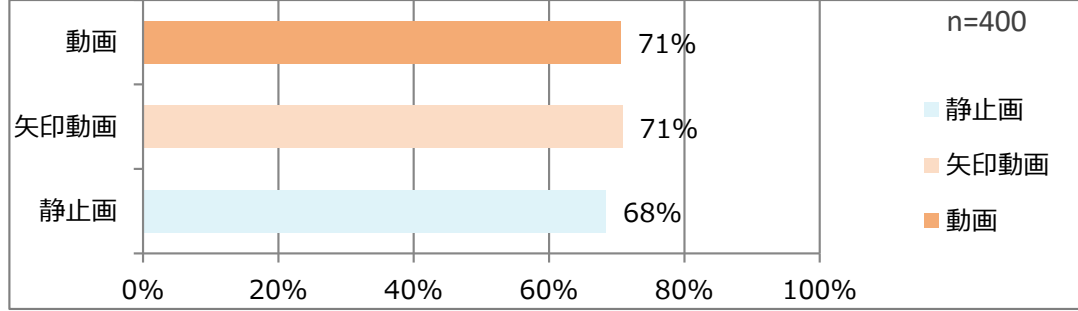


コンテンツで表示した情報は十分でしたか？



Webアンケート（日本人）

概要： 御堂筋で当該コンテンツを確認した日本人を対象にWeb形式のアンケート実施
場所： 全箇所
配信日： 9月23日（月）夜に配信 ※3連休にコンテンツを見た人をターゲット
サンプル数： 400（大阪市外に居住する日本人）



3. 効果検証結果(ビデオカメラ調査)

- 地下鉄出入口・難波交差点でビデオ撮影し、道に迷う人等を目視で分析した。
⇒その結果、プロジェクションマッピングを見て行動を変えた人が確認できた。道に迷う人は、実験期間外と比較して実験期間中は地下鉄出入口で69人(約24%)減少、難波交差点で約30人(約13%)減少。

ビデオカメラ調査

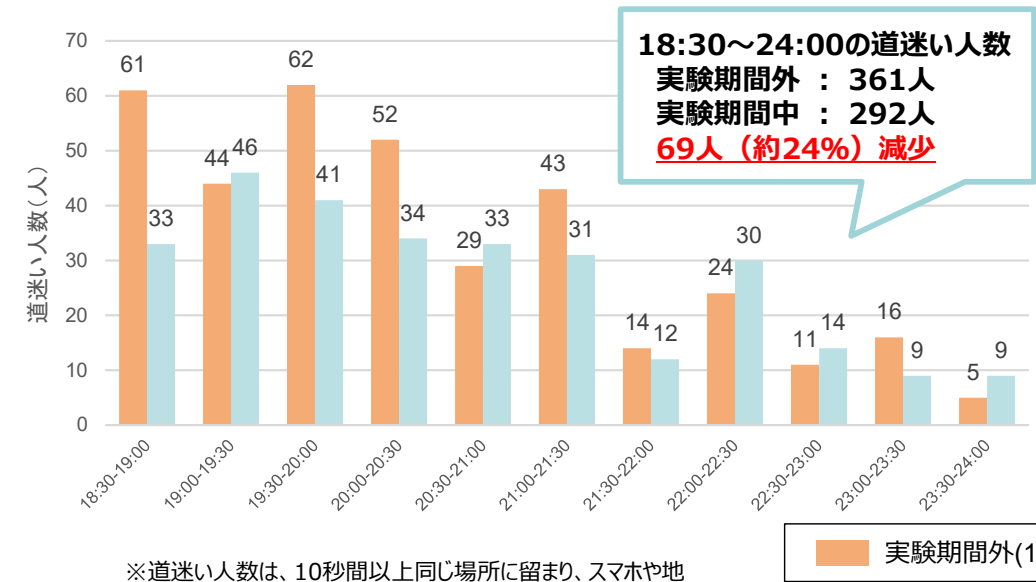
概要：地下鉄出入口・難波交差点でビデオ撮影し、立ち止まっている人や道に迷っている人等を目視で観測

場所：大阪メトロなんば駅14番出入口
(地点⑧)

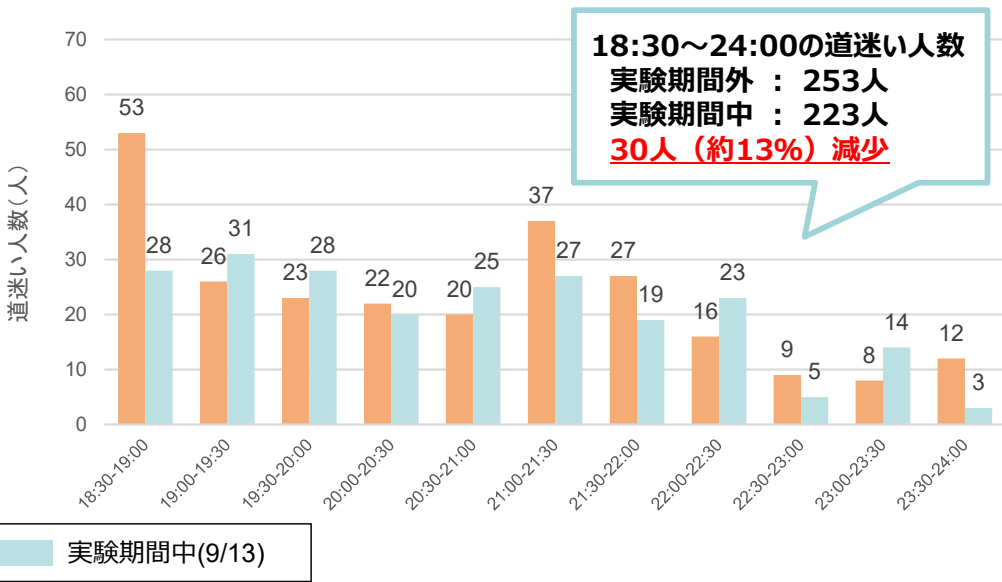
日時：実験期間中
9月13日(金) 18:30~24:00
実験期間外
10月4日(金) 18:30~24:00



大阪メトロなんば駅14番出入口 (地点⑧)



難波交差点 (地点⑨)



※道迷い人数は、10秒間以上同じ場所に留まり、スマホや地図を見ながら周囲を見渡す、周囲を指さす等の行動が見られた人を対象に集計。

図 実証実験前後の道迷い人数の比較